

島しょ町村保健師スキルアップ支援事業 ～島の活力を引き出す、つなぐ担い手の育成を目指して～	
島しょ保健医療圏	
実施年度	開始 平成 28 年度、 終了（予定） 平成 30 年度
背 景	2 町 7 村により構成される島しょ地域は、少子高齢化と併せて人口減少が進み、地域保健を取り巻く状況が大きく変化している。国は平成 25 年に、地域における保健師の保健活動の留意事項等を示した「地域における保健師の保健活動に関する指針」を定め、保健師が保健施策を一層推進することができる実践能力の習得のため、自治体は保健師の体系的な人材育成を図ることとされた。島しょ町村においても、住民に身近な町村の役割がますます増大しており、特に社会資源等の整備が十分とはいえない島しょ町村では、保健師の人材育成が欠かせないカギとなっている。 しかし、島しょ町村の保健師は、定着が進まないため、先輩からの引継ぎや技術の継承が十分ではない中、自信がないまま実務に着手することを余儀なくされており、早期退職者も多い現状にある。 そこで、島しょ保健所では平成 21 年度から課題別地域保健医療推進プランを活用し、島しょ町村保健師定着支援として、保健師の人材育成の支援をしてきた。今後はその成果を、町村に定着し、島の活力を引き出し、住民や組織をつなぐ保健活動を実践する保健師を、町村が育成できるよう支援していくこととする。
目 標	島しょ町村が保健師のスキルアップを主体的・計画的に実施できるよう、保健師研修計画作成支援や現地研修等の支援を行い、島しょ地域の保健活動の向上を図る。
事 業 内 容	島しょ町村保健師スキルアップ支援事業PT会議で進行管理を行いながら3か年計画で取り組んでいる。 1 平成 28 年度の取り組み 保健師研修計画の作成支援、現地研修の実施・評価、また、町村人事担当者・管理監督者を対象としたヒアリングを行い、管理監督者側のニーズを把握した。 2 平成 29 年度の取り組み (1) 「東京都島しょ町村保健師スキルアップの手引き」（以下、「手引き」と言う）の作成 町村保健師がキャリアレベルの確認や今後必要な経験・研修の検討をするためのツールとなるよう作成に着手した。 (2) 島しょ町村保健活動サポーターによる現地研修 28 年度に行った評価結果をふまえ、現地研修の継続実施、試行的にWEB研修を行った。 (3) 管理者連絡会の開催 町村の人事担当者及び健康主管課管理者をメンバーとする管理者連絡会を開催し、手引き、研修や人材育成に関する意見交換を行った。
評 価	手引きの作成については、町村保健師や管理者連絡会の意見を反映させながら作成することができた。さらに使いやすい形を目指して 30 年度中の完成、及び活用を検討を目指している。 現地研修については当初の予定通り実施し、試行的に行ったWEB研修については複数の町村保健師が参加し、保健師同士の情報交換にもつながったため有効な方法と考えられた。 管理者連絡会については、保健師のスキルアップに関する、町村の人事担当者及び管理監督者の貴重な意見を得ることができた。
問い合わせ先	島しょ保健所 総務課 庶務担当 電 話 03-5320-4342 ファクシミリ 03-5388-1428 E-mail S0000324@section.metro.tokyo.jp

事業の概要

島しょ保健所の管轄地域は2町7村により構成されており、島の地理的条件や人口構成は自治体により異なるが、全体的には少子高齢化、人口減少が進んでいる。保健医療福祉に関する社会資源も限られており、住民の健康の保持増進を担う町村保健師への期待は高い。

しかし島しょ町村保健師の定着は進まず、引継ぎや技術の継承が十分ではない中、即戦力として期待され、専門職として自信がないまま実務に着手することを余儀なくされており、早期退職者も多い現状にある。島しょ町村では保健師の人材育成が欠かせないカギとなっている。

平成25年に示された「地域における保健師の保健活動について」（平成25年4月19日付健発0419第1号）及び「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめ」（平成28年3月31日事務連絡）の中で各自治体は体系的な保健師の人材育成を図り、人事部と連携した人材育成体制で推進することが示された。

このため、島しょ保健所では、課題別推進プランの中で平成21年より継続的に島しょ町村保健師等の確保・定着支援に取り組み、町村への支援を行ってきた。

平成28年度からはこれまでの取り組みの成果をふまえ、島しょ町村が保健師のスキルアップを主体的に実施することを目標として、島しょ町村保健師スキルアップ支援事業PT会議で進行管理を行いながら3か年計画で取り組んでいる。

平成28年度には、保健師研修計画の作成支援、現地研修を継続し、その評価（アンケート調査）と、町村人事担当者・管理監督者を対象とした管理者連絡会開催に向けてヒアリングを行った。これらの中で、現地研修は有効であるが、一方で内地研修のWEB受講やDVDで受講できる仕組み作りも必要であること、町村内での人材育成については町村内に指導者がいないなどの課題があること、手引きの作成や保健所のバックアップを期待するなどの意見を得た。これらの意見をふまえ、平成29年度には「東京都島しょ町村保健師スキルアップの手引き」（以下、「手引き」と言う。）に着手した。30年度には手引きを完成させ、活用の検討を予定している。

平成29年度の事業内容及び実績

1 手引き（案）の作成

国の「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめ」で示された「自治体保健師の標準的なキャリアラダー」を基に、様々な年代・キャリアを持つ保健師が島しょ町村の保健師として入職した際に、概ね3年程度でA-3レベルを目指すことを前提としている。別冊シートには、自分が今どのレベルにあるのか、必要な経験・研修は何かなどについて、書き込みながら考え、同僚・上司、保健所保健師と話し合う際のツールとなるよう作成している。内容は以下の構成としている。作成に当たっては、下記3の管理者連絡会及び町村保健師の意見を反映させた。

【29年度時点の手引きの構成】

東京都島しょ町村 保健師スキルアップの手引き - はじめに - 手引きの活用方法 - 保健師に求められる能力 - 参考となる研修 - コラム	手引き【別冊】個人シート 自らのキャリアラダーやキャリアシートを記載するノートとして使用することを想定。
---	--

2 島しょ町村保健活動サポーターによる現地研修等

町村保健師の定着を目的として、島しょ町村保健活動サポーターを講師とした現地研修、及び保健師研修計画の作成支援等下記のとおり継続実施した。また5月にはサポーター連絡会を開催、その際のサポーターの意見を研修に反映させた。

	日 時	テーマ・内容・工夫点	参加人数
大島管内 (新島支所)	平成 29 年 6 月 29 日 ～30 日	<u>研修</u> 「島で暮らしながら保健師活動をすること」 <u>事例検討</u>（大島町保健師より事例提供） 「出生から就学までの支援」 講師・助言者：前川あゆみ氏（医学総合研究所）	10 名
大島管内 (神津島支所)	平成 30 年 2 月 7 日 ～8 日	<u>研修</u> 「5 歳児健診事業を通して保健師活動を学ぶ」 体験した事業を基に、ポイントを言語化することにより、事業の施策化と評価、地区活動への展開方法について理解を深めた。 講師・助言者：前川あゆみ氏（医学総合研究所）	4 名
三宅管内	平成 29 年 11 月 22 日	<u>研修</u> 「特定健診結果の活用について」 講義と実際のデータを活用した意見交換を行い、健康課題を抽出する視点や、それを踏まえた保健活動の展開について理解を深めた。 講師・助言者：関山みどり氏（元渋谷区）	5 名
八丈管内	平成 29 年 11 月 28 日	<u>研修・事例検討</u>（八丈町保健師から事例提供） 「事例検討とは、個別支援検討」 講義と事例検討を通して、参加者全員で検討する良さ、個だけでなく家族全体をみる視点等を学んだ。このような場を継続したい希望あり。 講師・助言者：関山 みどり氏（元渋谷区）	6 名

	日 時	テーマ・内容・工夫点	参加人数
小笠原管内	平成 29 年 9 月 9 日 ～12 日	<u>研修</u> ①「災害時の行政保健師の役割について」 ②「保健事業評価について」 <u>保健師人材育成関連</u> ①新任保健師のキャリアラダー確認 ②小笠原村保健師像のゴールを見出すための個別ヒアリング等 講師・助言者：青木さぎ里氏（自治医科大学）	延べ 18 名

上記に加え、精神保健福祉センターの協力を得て、全島（WEB参加可能な町村）へ向けたWEB研修を下記のとおり実施した。

	日 時	テーマ	参加
全島向け	平成 30 年 2 月 21 日	「精神疾患の理解と、治療を拒否するケースへの対応」 講師・助言者：源田 圭子氏（精神保健福祉センター）	9 名

また、全ての町村から保健師が参加する、年に2回の島しょ保健所合同町村保健師連絡会の場を用いて、保健師のスキルアップを目的とした研修を企画、実施した。

	日 時	テーマ及び講師	参加
全島向け	平成 29 年 8 月 31 日	情報提供及び情報交換「がん検診事業の動向と受診率向上・精度管理に関する取組について」 講師・助言者：石丸医師、浅井氏、湯浅氏（健康推進課）	22 名
全島向け	平成 30 年 2 月 19 日	「アセスメントのポイントについて」 「事例検討」（小笠原村から事例提供） 講師・助言者：新村順子 氏（医学総合研究所）	20 名

3 町村の人事担当者及び管理監督者との意見交換等

(1) 島しょ町村民生部会（メンバー：2町7村の福祉及び健康主管課管理職）

6月には島しょ町村民生部会の場で、28年度に行った調査（①現地研修に関するアンケート調査、②保健師を統括する部署の管理職及び人事担当者へのヒアリング調査）を報告、意見交換を行った。保健師確保に関する要望も出され、7月に行われた都保健師業務説明会において、「島しょ町村保健師募集ブース」を設置することとなった。

(2) 管理者連絡会（メンバー：2町7村の人事担当者及び健康主管課管理者）

11月に管理者連絡会を開催し、手引き作成について報告、手引きの骨子を元に、町村保健師の人材育成について意見交換を行った。参加者からは、管理職と町村保健師と一緒に、また保健所保健師も含めて振り返りを行うツールとして使えるのではないかと、自治体独自の評価と合わせて使う工夫が必要、など活発な意見が出された。それらの意見については手引きに反映させた。

平成29年度の事業評価

1 島しょ町村保健師の定着状況

平成29年4月1日時点で、島しょ地域2町7村に勤務する常勤保健師は17名、17名のうち、8名（47%）が3年未満であり、定着状況は2年前の平成27年と比較しほぼ横ばいとなっている。

在職年数		1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	計
人数（%）	27年4月	2（11.1）	6（33.3）	4（22.2）	6（33.3）	18
	29年4月	4（23.5）	4（23.5）	3（17.6）	6（35.3）	17

2 平成29年度の事業内容評価

手引きの作成については、国から示されたキャリアラダーを基に、島しょ町村の保健師がどのレベルを目指していくのか、管理職が保健師の役割について理解を深めるためには何が必要か、など町村保健師や管理者連絡会の意見を反映させながら作成することができた。中でも3つの島の町村保健師には、手引きを実際に読んでもらい、より具体的な意見を得ることができた。それらの意見を反映させながらさらに使いやすい形を目指して30年度中の完成を目指すこととした。また、活用方法については、別冊シートを作成し、書き込みながら自ら考えたり、同僚・上司や島しょ保健所保健師と話し合うプロセスを重視することとした。

現地研修については当初の予定通り実施し、年度後半には精神保健福祉センターの協力を得てWEB研修を試行した。WEB参加可能な3島の町村保健師が参加し、WEB上での講師への質問や、異なる島の保健師の顔合わせや情報交換にもつながった。島外研修に出向く負担を軽減する方法としても有効であった。

管理者連絡会については、保健師のスキルアップに関する、町村の人事担当者及び管理監督者の貴重な意見を得ることができた。

平成30年度の事業計画

平成30年度は最終年度として、島しょ地域の保健活動の向上を図るため、引き続き下記に取り組む。

- 1 島しょ町村保健師スキルアップの手引き完成と活用・提言
- 2 島しょ町村保健活動サポーターによる現地研修の継続実施
- 3 管理者連絡会の継続実施